

# JCE7ニュース

第7回日本伝道会議の準備が始まりました。諸教会、諸教団、そして多くの宣教団体の皆様、そして国内の外国語教会、国外の日本語教会の方々、また若い方々、信徒の方々も、みんなで福音宣教のために力を合わせたいと願っています。

## 日本伝道会議のこれまで

これまでの6回の会議を簡単にふりかえってみましょう。第1回の日本伝道会議は、「日本をキリストへ」とのテーマのもとに、1974年に京都において行われました。主講師はジョン・ストット師でした。1968年には「日本福音同盟」が誕生し、翌69年には「新改訳聖書」が発行されています。その後、第2回の会議は1982年に同じ京都で「終末と宣教」、第3回は1991年に那須塩原で「日本からアジア、そして世界へ」、第4回は2000年に沖縄で「21世紀の日本を担う教会の伝道—和解の福音—」、第5回は2009年に札幌において「危機の時代の宣教協力—もっと広く、もっと深く—」、そして、前回第6回は2016年に神戸で「再生へのRe-VISION～福音・世界・可能性～」とのテーマで開催されました。ちなみに、第3回までの会議は日本福音同盟（JEA）の主催で行われましたが、第4回からはJEAの枠を超えた実行委員会によって開催されるようになりました。より広い宣教協力の実現を願ってのことです。

振り返りますと、その初期においては、私たちのアイデンティティである聖書信仰を確認し、21世紀に入ってから、宣教協力のインフラを整えて継続的な働きを進めることに取り組んで来ました。前回の会議では、福音のすばらしさを再確認することからはじめ、時代と世界の文脈にある私たちの姿と、そして与えられた可能性を見直し、具体的な分野における宣教協力をプロジェクトとして進めるとともに、地域の交わりや教団教派をネッ

実行委員長  
小平牧夫



トワークとして結ぶ宣教協力の態勢をつくることを目指しました。そのような働きを通して深められた関係があり、広められた協力があり、強められたつながりがあります。そのようにして与えられて来たものを豊かに活かし、新たな変化を生み出し、それらを一つに結び合わせる努力をしながら、さらに将来につなげていきたいと願っています。

## 終わりから始める

JCE7のテーマは「『おわり』からはじめる『宣教協力』」です。1995年にJCE7の開催地である東海で行われた第3回東海宣教会議の講師であるロバート・コールマン師は「主の弟子として生きる」の終章で、「始めるべきところは、終わりのところ、つまり万物の完成における完成した教会のビジョンである」と語っています。神はこの世界のためにご計画をもっておられ、この時代に生きる私たちは前を歩んだ先輩たちからのバトンを受け継いでその働きをともに担っています。私たちの働きは小さく、必ずしも願うように進んでいるわけではないかもしれませんが、しかし、終わりの日に完成される神の国のビジョンを共有し、神が実現してくださることを先取りして、私たちは何度でも見直して、やり直して取り組んでいきましょう。

## 大会概要



開催日:2023.9.19 (火) ~ 22 (金) 会場:長良川国際会議場 (岐阜市)  
大会規模:会場1000名、オンライン500名 開催地オープン集会を予定!